## 〇義僕市兵衛と芝居

る 奴を に 城 狙 んで來た百兩の金の爲め、文七の母自殺し、文七其崇りにて乱心 僕 知 河 多くの人々を殺害するとの筋書である。 るを得ない 場を演じ、文七なる者、 市兵衛、俊寛鬼界ヶ島の故事に倣ひ、夢にて治郎兵衛と邂逅す ひ、誤つて 地 伴 認 ۲ 藤 む 荻 て 題 關三十郎、 隠居と共に、之を脚本に綴り、世界忠孝兩面揃 る 生 所 人の妻を打殺し、其爲め名主次郎兵衛島流しとな が な 市 幕目によると、 IJ 村座に於て興行 下 は 尾上菊次郎等であつた。 學 者 充分世 慶應元年江戸淺草の狂言作者川竹 八兵衛の娘おさきと戀に落ち、 文 献 と な 八段に別ち、宗十郎なる者 したのである。其内容は たるの つた。幕末に至り 時 の 資格がある。 役者は市川 上 そこ 小團次、 大衆文林 小 鼠 七 IJ, 今 詳 木綿 の 猪 山

義僕姉崎市兵衛

昭和十一年四月三十日發行

壽祐著

房總先賢顕彰議會 發行所】

より





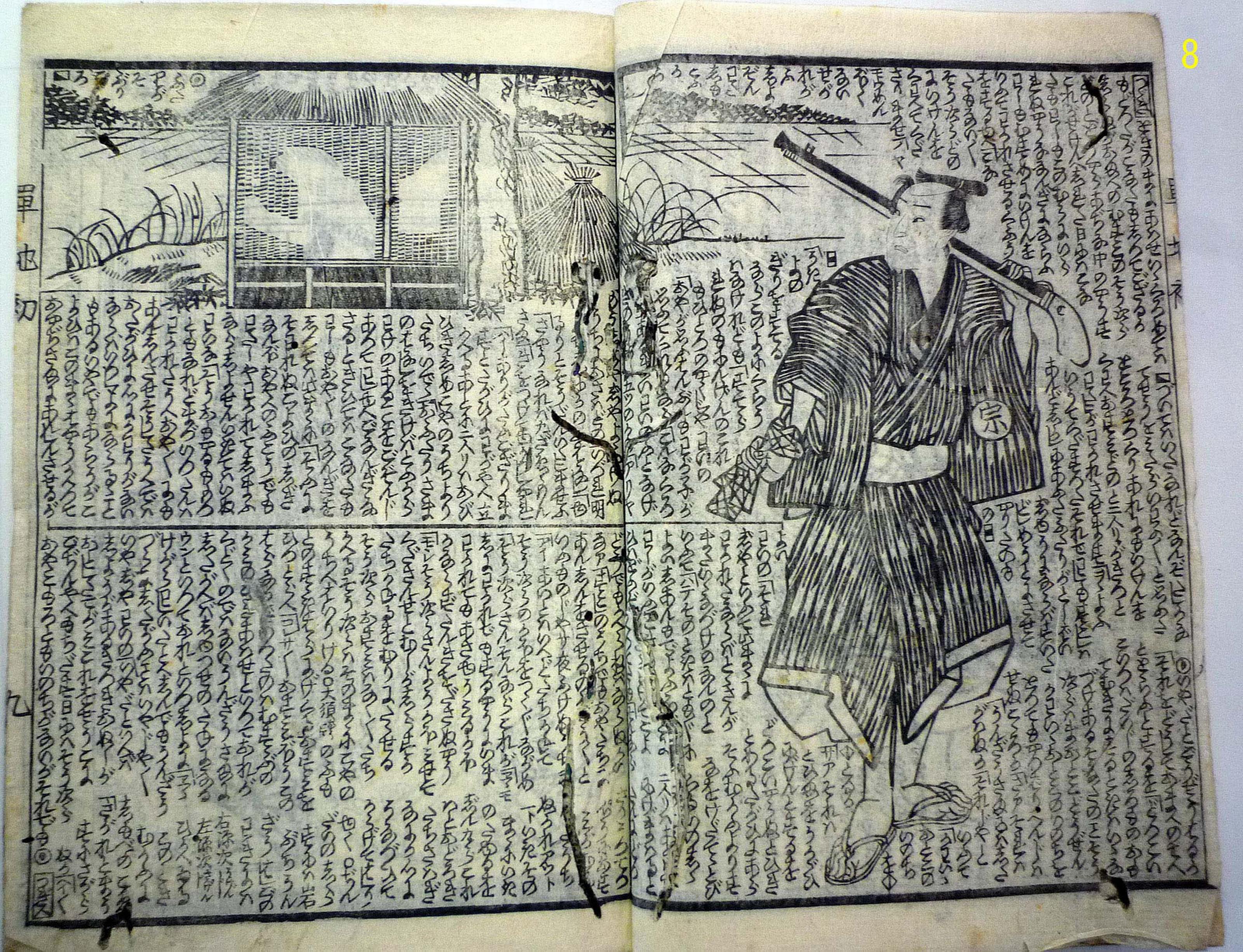








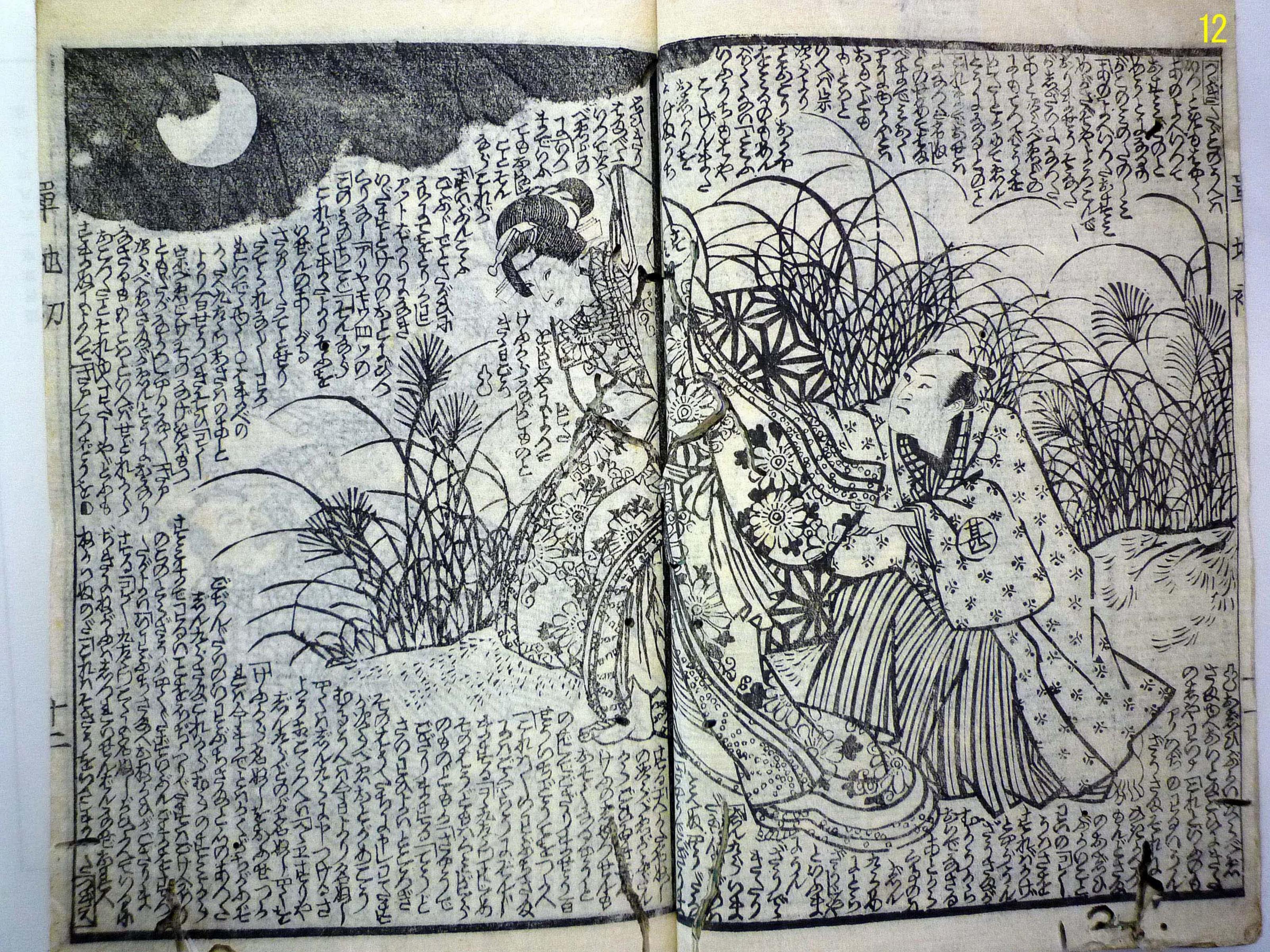




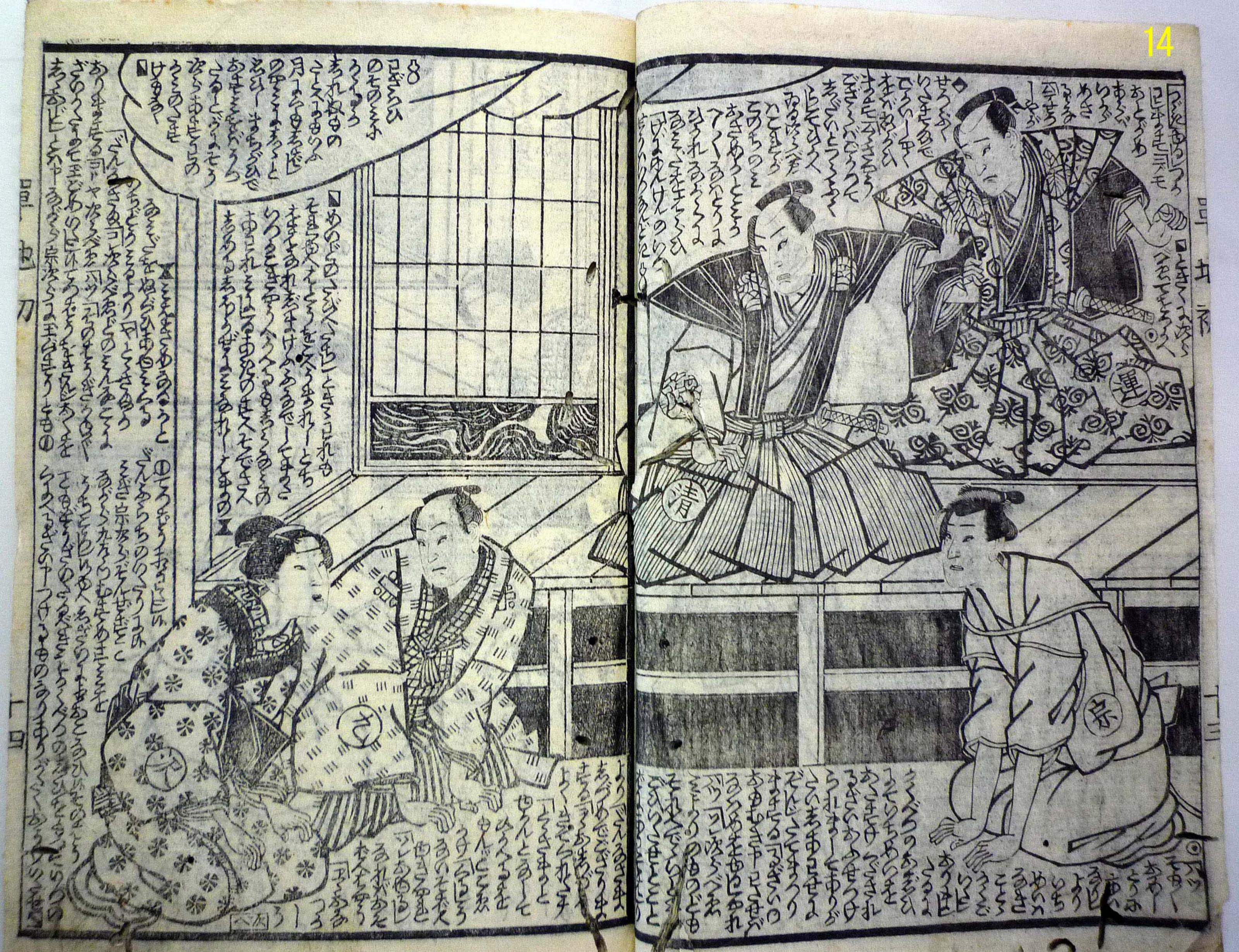




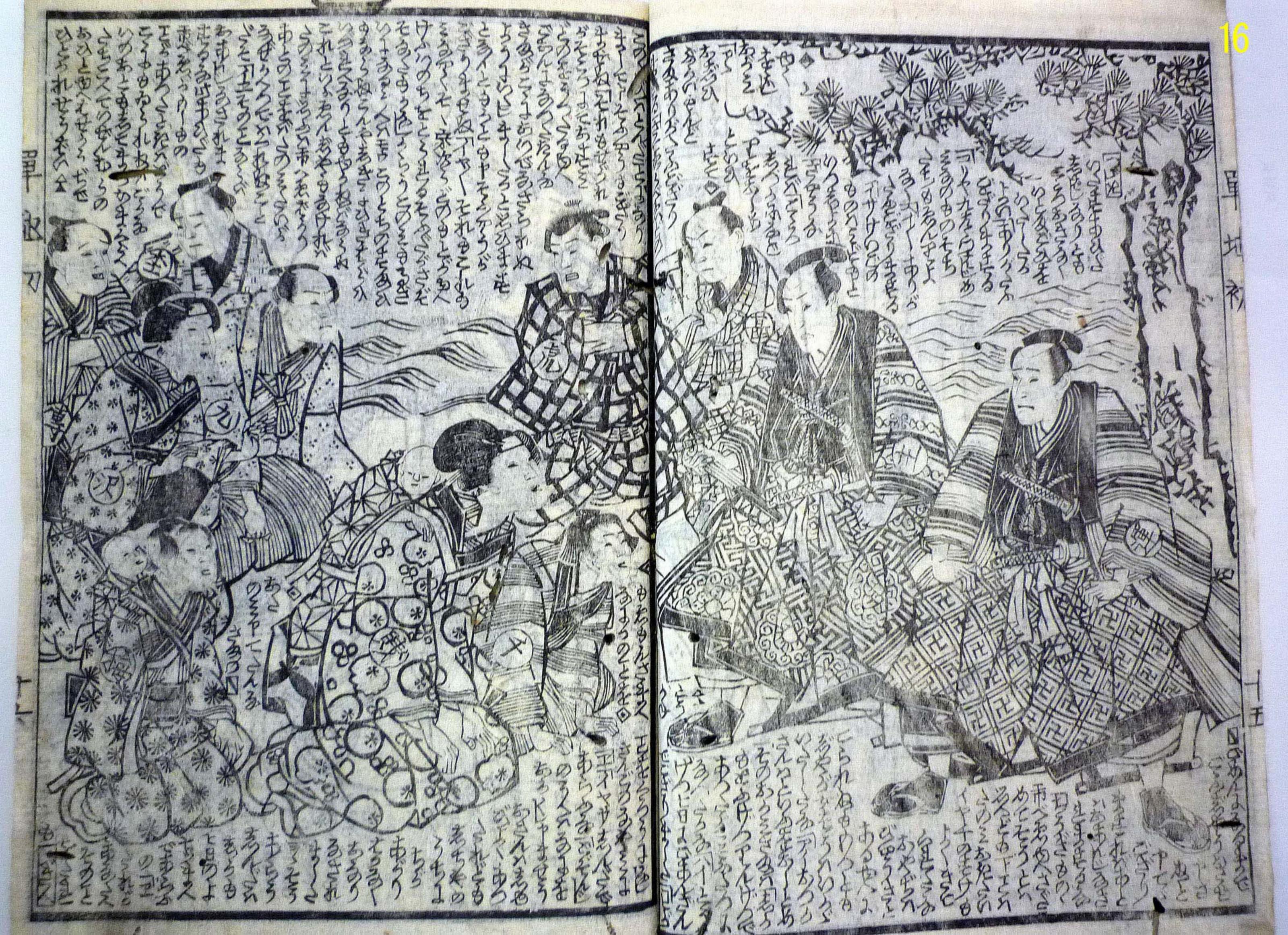


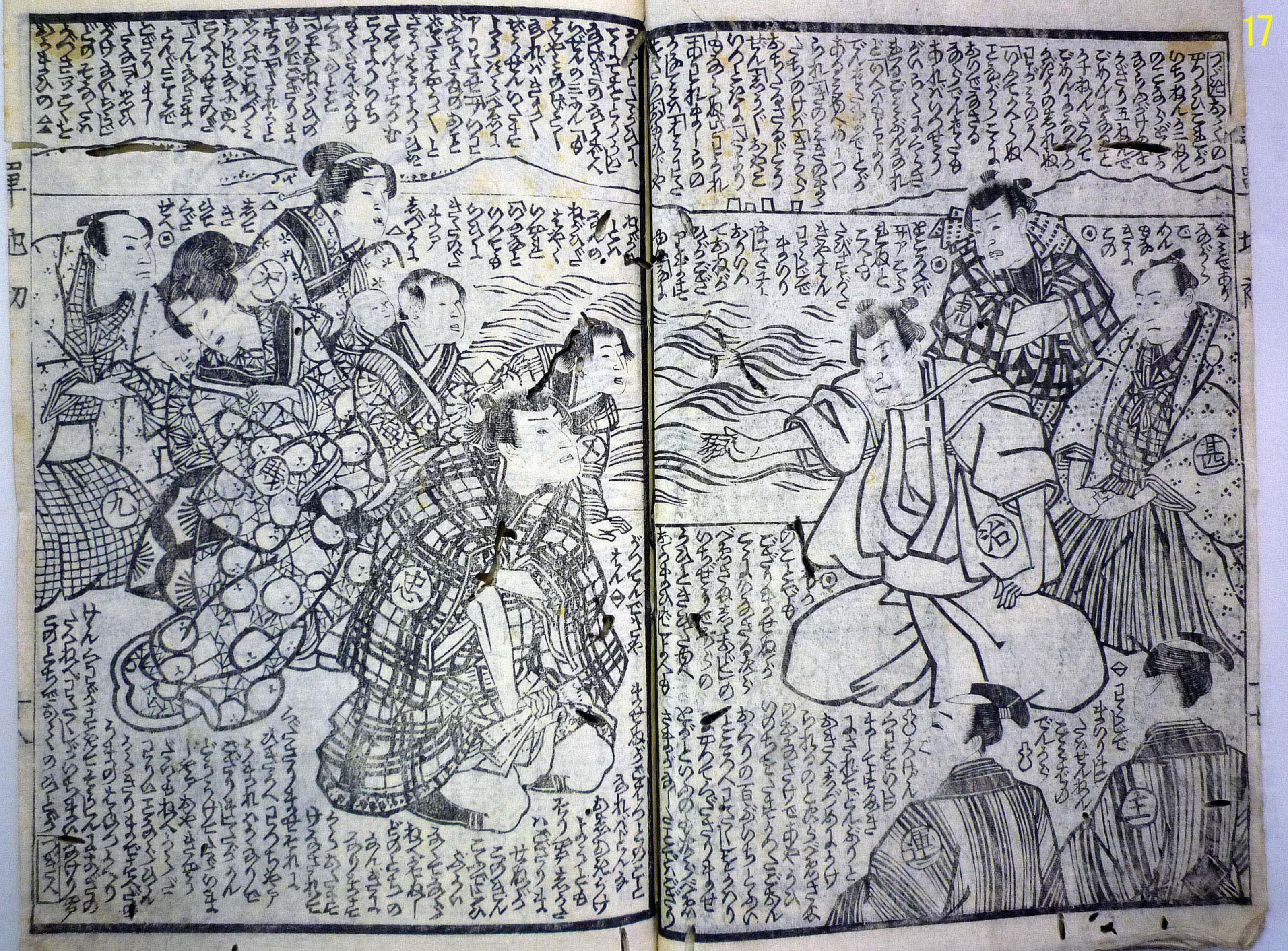


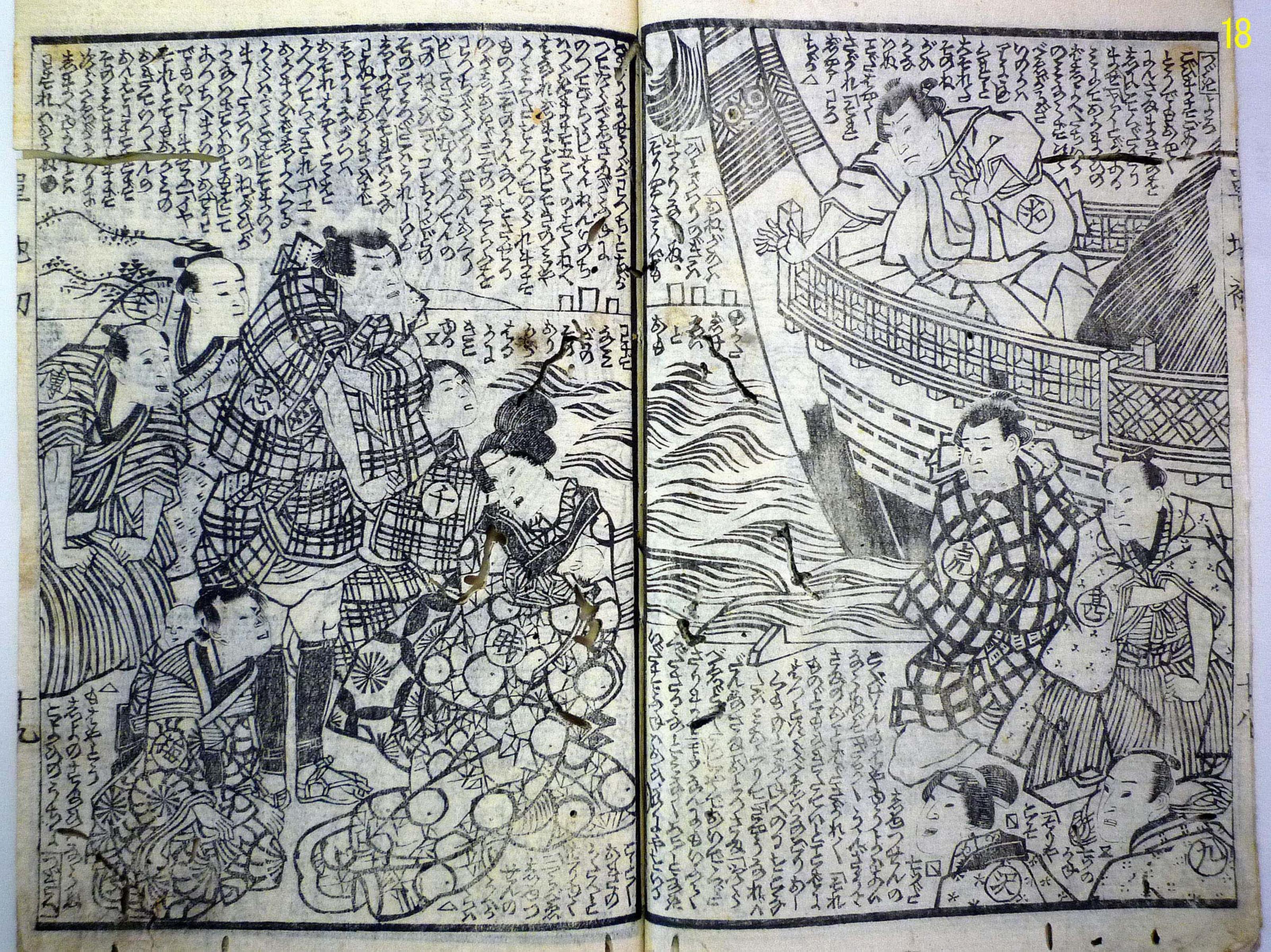


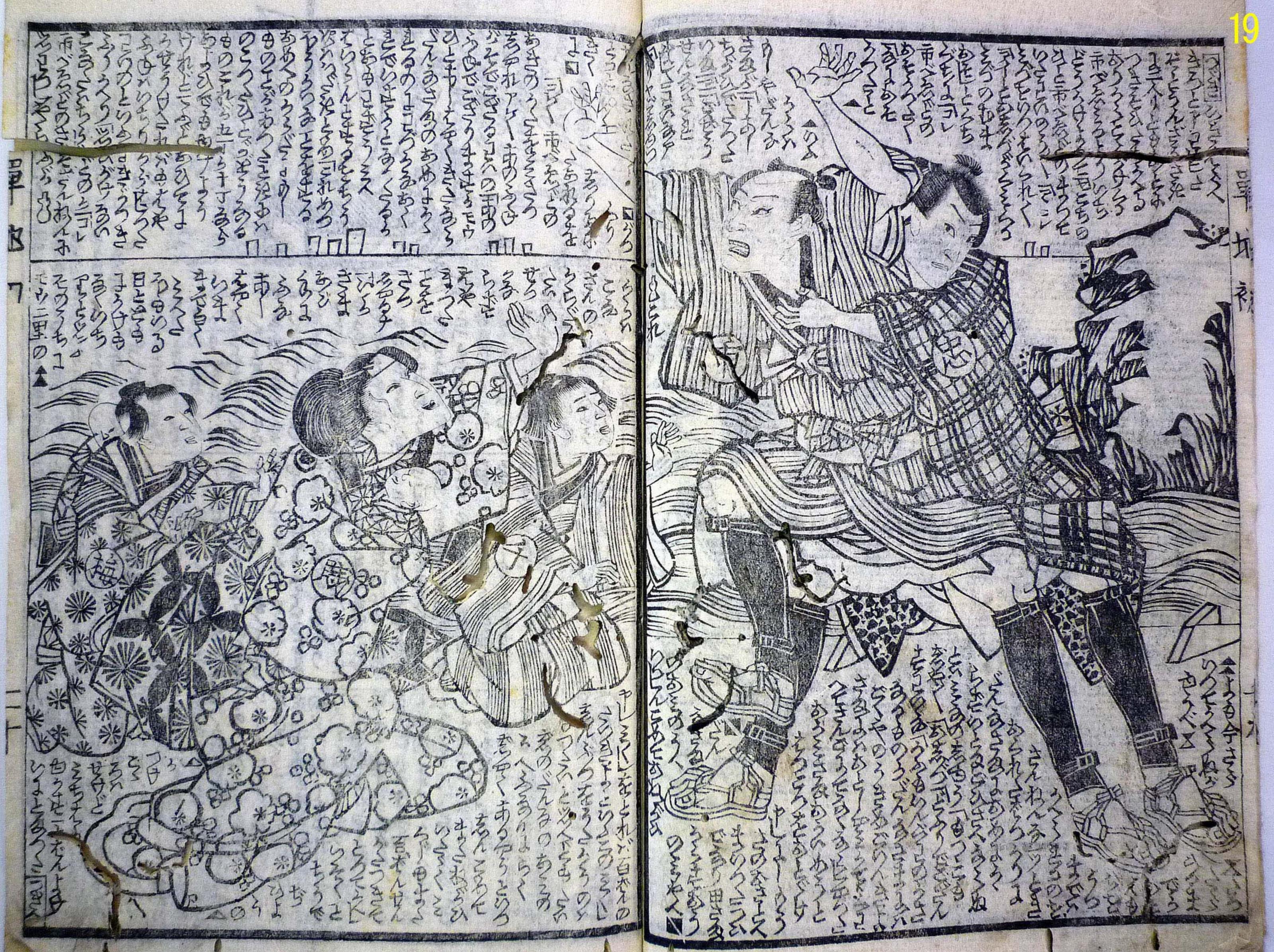


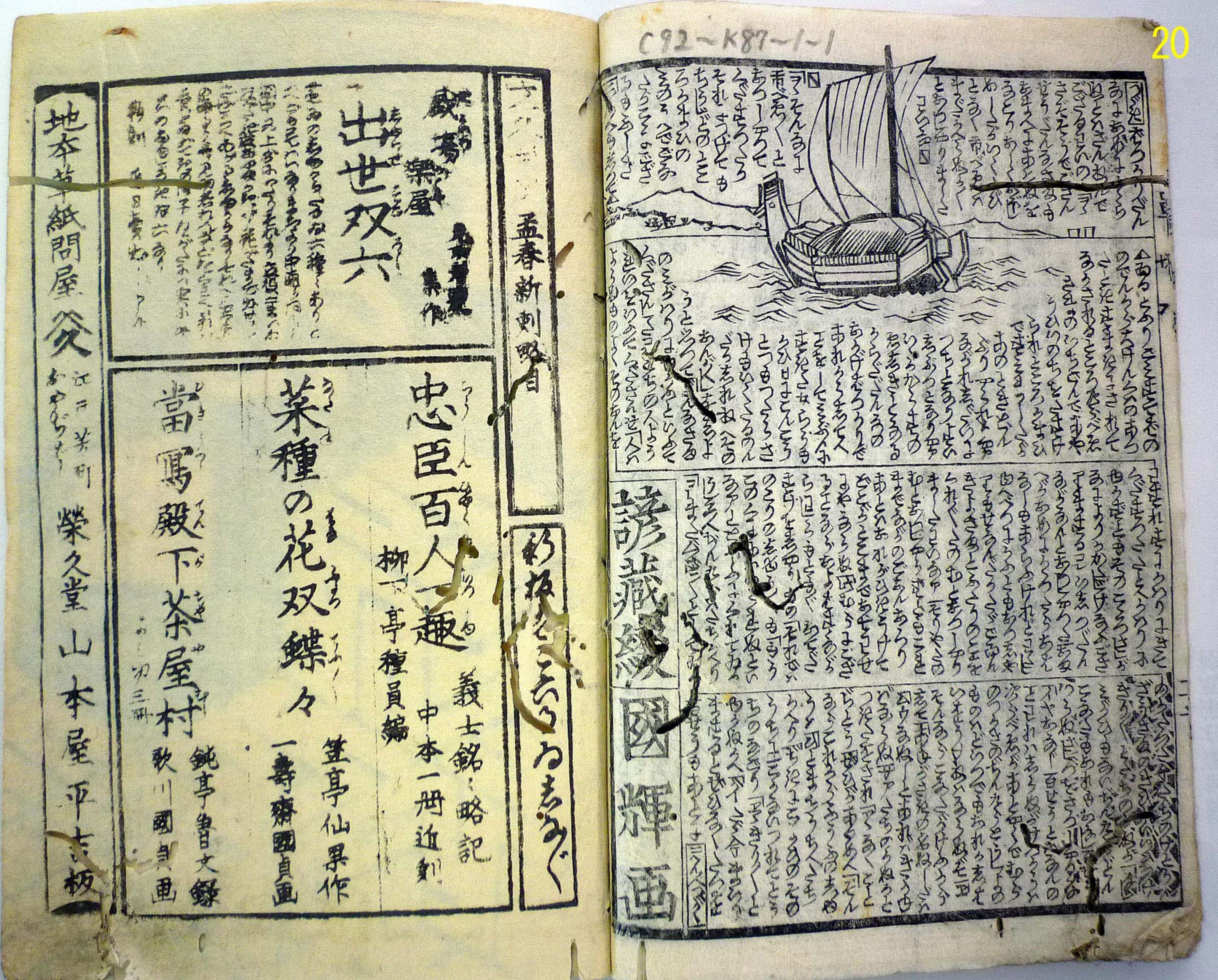










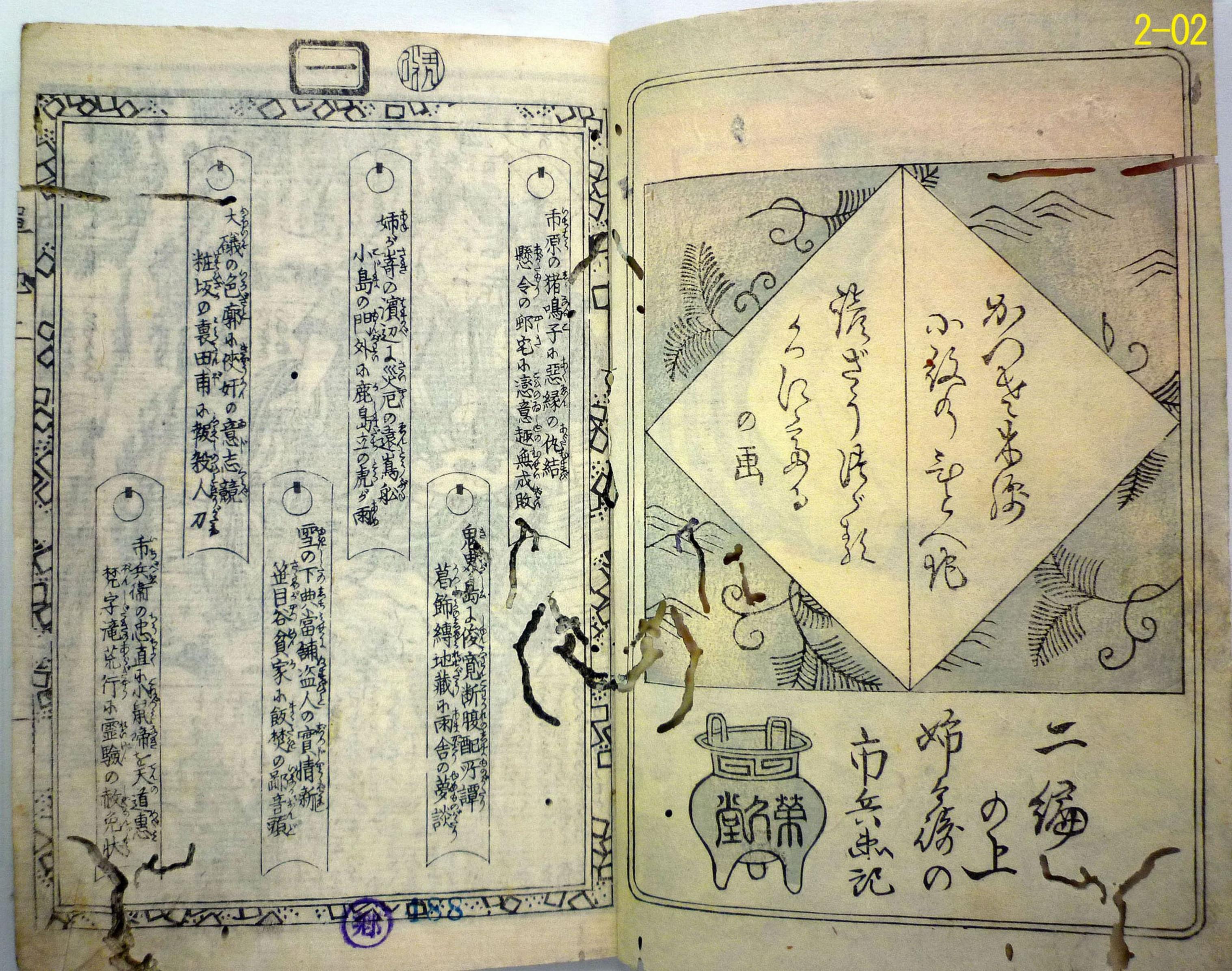


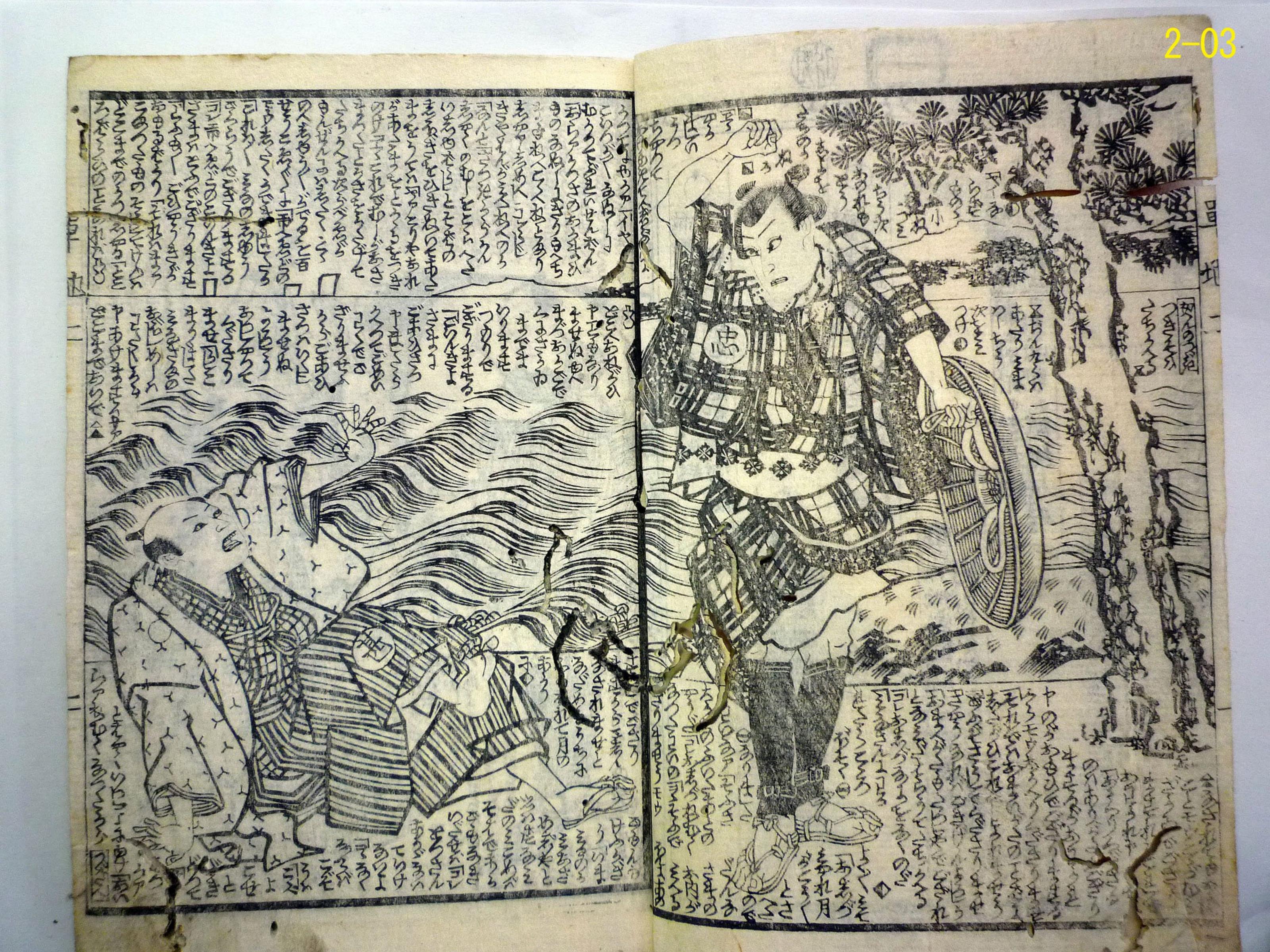














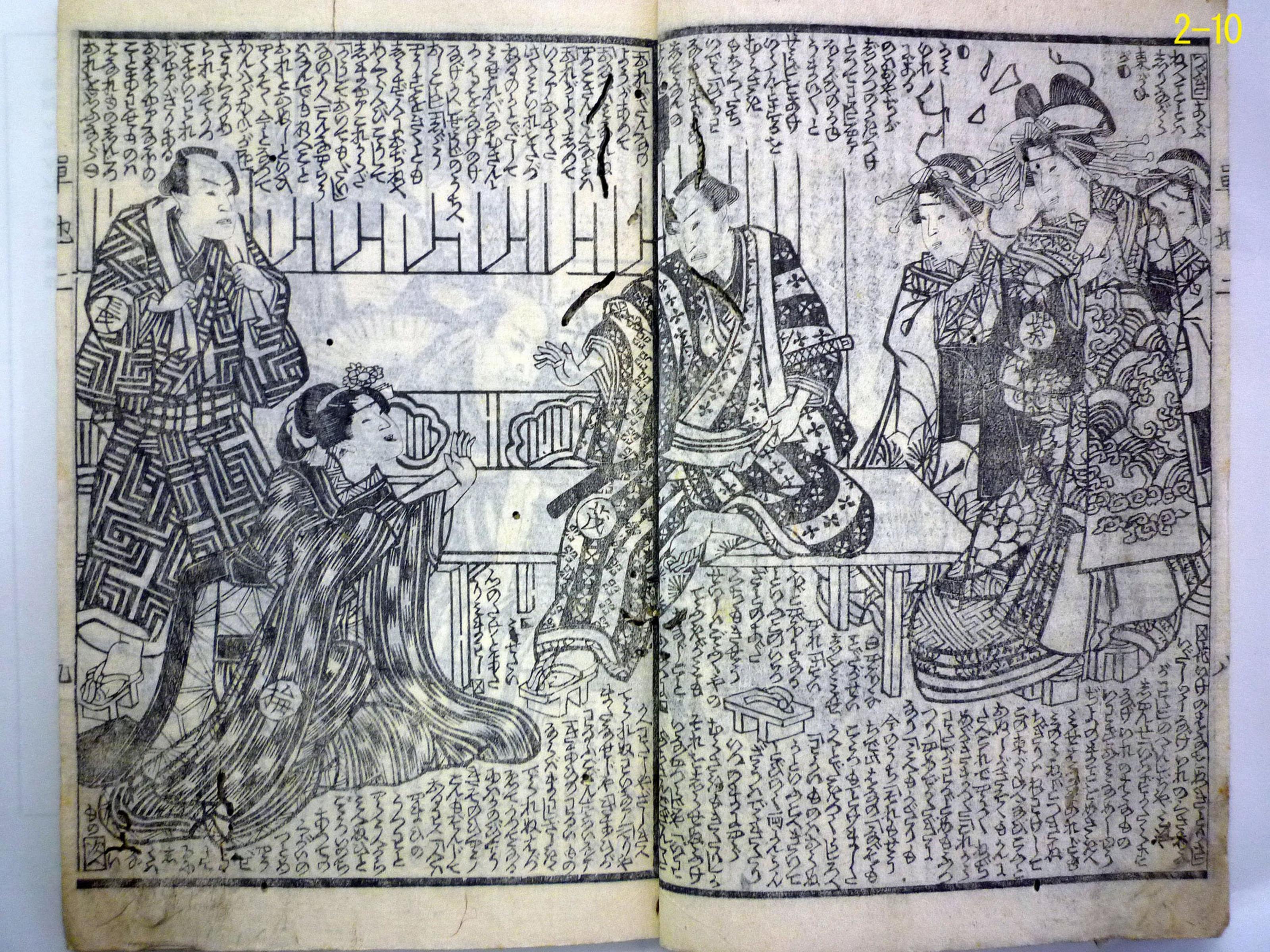














K









